

①作品タイトル

M&Project

ミーツ アンド ミングル アンド 三河安城
Meet & Mingle & MIKAWA anjo



GEODESICS
MADE IN JAPAN KARIYA
ジオデジックス プランエイチ(株) イベント事業部

2 場のデザイン部門

②コンセプト

三河安城で多様な交流が生まれる

新幹線と電車とアリーナは人で交わる、タイムレスな交流の場所 ミングルを創ります！

ロゴイメージ

Mingle!

③リサーチ

実際に三河安城に行ってみました

三河安城駅から新幹線に乗るときは、南口から改札へ行きまし、JR 三河安城からは連絡通路を歩いて来ますので、近隣に 40 年ほど住んでいるにも関わらず、矢総公園に立ち入るのは初めてでした。実際に歩いてみて正直に感じたことをまとめてみました。

劣化	暗い	疎外感	開けていない	北側特有の	桜やモクレン、メタセコイヤなど季節を感じられる木もある	噴水？
影	古い	導線が曖昧	駅から見えない	ビル裏感	手洗いもない 遊びという銅像は共感できる	愛知県モチーフ？
陰	施設感	謎のオブジェ	横断歩道を渡る、危ない	駐車場がない	トイレもない	高架が近いのでうさぎ

危ない使わない箇所は改善し、古い歴史は受け継ぎ、今の現状を変えてしまうのではなく活かせる箇所は活かす
クリアで明るい街は南口にあります。都市の街づくりでは、三河安城らしさが消えてしまし、暗さをアンダーグラウンドの草の根活動として残したい。

④課題

現状の問題を整理してみました

【メリット】

- ◎ 交通の便は良い。名駅から 10 分、豊橋から 12 分、岐阜羽島から 20 分、浜松から 27 分、静岡から 59 分、新大阪から 85 分(こだま)、品川から 134 分(こだま) こだまでも驚異的な時間で三河安城に来られる。
- ◎ あんくるバス高橋線、西武線、作野線が発着するので、市内の方も来られる。
- ◎ JR 三河安城があるので、近隣市外の方も来ることができる。
- ◎ 駐車場も宿泊先もある。南口にはお店やコンビニが立ち並び、
- ◎ 何も無いから始めやすい。

【デメリット】

- △ 賑わいや活気がなく、定期通りに通過されてしまう。
- × 人口は増加しているのに、人が交流する場所がないため、人の活動が見えない、感じられない。
- △ 今から 3 4 年前に建てられた三河安城駅なので、古い施設感が否めない。
- × 廃れ感や北側特有の影感。伸び放題の草と木が余計に影を作る。
- × 高架があれば、必然とできる橋の下特有の暗いエリアが混在。
- × 横断歩道を渡らなと行けない。
- × 何も無い。ビル裏感があり、疎外されたエリアイメージ。



⑤目的

M&Project で目指すこと、できること = 可能性を模索すること

三河安城の歴史 34 年を整理して、次の 34 年に繋げること。
→ 当時の想いをヒアリングし、ただの綺麗な施設に仕上げないこと。

最大の目的は交流が生まれること。
→ 合言葉は **ミーツ アンド ミングル** それが、商いでも私用でも、一人でも多くの方とミングル活動ができる地域交流だけでなく、日本中が交流するならここ三河安城で、お会いしましょう。

可能性を模索します
→ 施設側と使う側の意見を取り入れて、今後の可能性を模索する時間を続けていくこと
それが、らしさに繋がり、具現化していくと思います。デザイナーと一緒に走り続けていける体勢創りが重要です。今回の提案で終わりでなく、伴走支援も続けていくこと。
素晴らしい活動の一つ、マチナカプレイスメイキングを全国の利用者様との想定に広げていくことを想定します。

⑥ソリューション

デメリットをメリットにチェンジ！



A. North 三河安城のアンダーグラウンド。とことん影を押し出そう！

北側なんだから仕方がない。あきらめよう(明らかに見定めよう)。隠と陽、光と影は必然だ。三河安城の南側やアリーナが陽なら、とことん隠を詰め込もう。

B. 交流から創造しよう！Meet & Mingle

2 年の自業もたらしたものは、何だったのだろう。コロナ禍での制限で「人とつながり」をより大切に感じる？これからの交流や活動のあり方を考える。

C. 多種多様な生き方、ミングル活動

ダイバーシティな生き方、働き方、人種、文化、国籍、人間だけでなく動物まで。それって、大阪東京に行かないとだめ？そんなことありません。ここ三河安城で。

D. まさかの！交流はタイムレス！昼夜問わず、商業需要を取り込もう！

安城市には日本を代表する農作物や文化や職人仕事や様々な活動があります。昔の商店にはたくさんの職人仕事があったはず。本当の職人文化が廃れたり、廃業したりして欲しくない。安城だけでなく、日本のプロの商業需要を取り込めたら、面白い交流になるのではないかな。

⑦機能実装のイメージと説明 多様な交流が生まれる場所作り

North 三河安城のアンダーグラウンド。とことん影を押し出そう！
→ スギビル裏という要素にストリートやアートを取り込もう。
交流から創造しよう！ Meet & Mingle
→ 様々な交流を後押しする。多種多様な生き方、ミングル活動
→ 遊び・仕事・学業「ここに行けば何でもできる。」新しい場所を目指します。
まさかの！交流はタイムレス！昼夜問わず、商業需要を取り込もう！
→ 昼夜問わず交流できる施設の実現に向けて箱物の新しいあり方を模索します。



構想イメージの一例



ミーツ アンド ミングル アンド 三河安城
Meet & Mingle & MIKAWA anjo 拠点

木製ドームテント

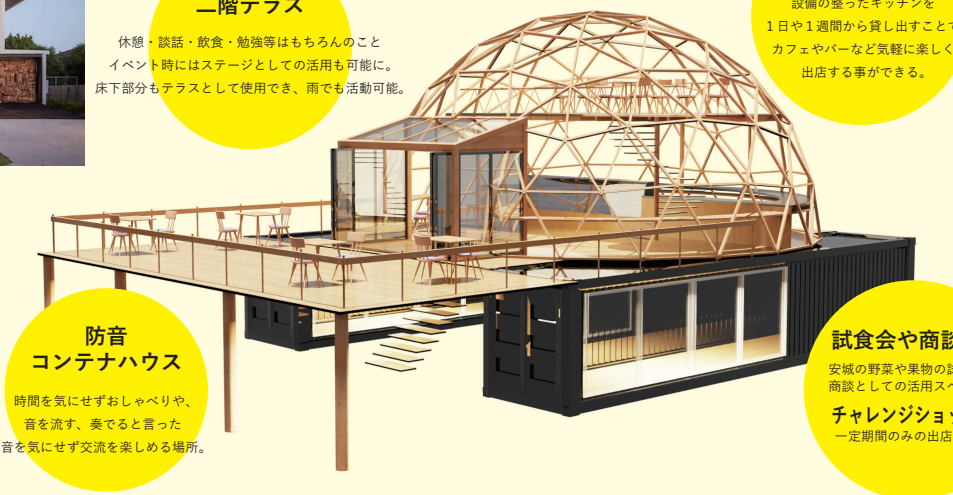
駅前に植樹されているラクウショウから作る木製ドーム。
34 年の歴史を象徴する立派な樹木ラクウショウを材木として生まれ変わらせ、水に強い性質もあり次の 34 年に受け渡す。地域の資源を有効活用することで SDGs にも配慮できる。

防音コンテナハウス

昼夜問わず交流できる箱物の新しいカタチ
経済性が高く、短納期で工事が可能。その外観からは、無骨でかっこいいイメージがあり、今回の隠をかすかデザインとマッチする。

レンタルキッチン

設備の整ったキッチンを 1 日や 1 週間から貸し出すことでカフェやバーなど気軽に楽しく出店する事ができる。



二階テラス

休憩・談話・飲食・勉強等はもちろんのことイベント時にはステージとしての活用も可能に。床下部分もテラスとして使用でき、雨でも活動可能。

防音コンテナハウス

時間を気にせずおしゃべりや、音を流す、奏でると言った音を気にせず交流を楽しめる場所。

試食会や商談に

安城の野菜や果物の試食や商談としての活用スペース
チャレンジショップ
→ 一定期間のみの出店など

⑧設置・運営に係る基本的な考え方、計画

この M&Project は地元の安城市民だけが交流をするのではなく、市外、県外、国外の対外交流を目的としたプロジェクトです。市民で作るまちづくりは、南口で十分にそれが実現可能であると判断しました。大企業同士の交流が展示会や大規模施設等で行われるのに対して、個人レベルの雑多で多種多様な交流が昼夜問わず叶う場所はなかなか無く、こういった時代だからこそこのような交流が必要であると考えます。全国初の試みなので、行政の歩み寄りが不可欠ではありますが、新たな三河安城駅として生まれ変わる第一歩となる、安城市民以外の多くの方々を受け入れる入口を作りたいと思います。そういった個性豊かで、もっと言えば少し変わった人同士の交流が面白みを増し、創造性豊かな文化が栄え、三河安城に人々が集まることが増えれば、近隣のステーキホルダーにも理解を得られると思います。消費ありきの交流ではなく、交流することの本質や交流によって生まれる文化、人々の商いや営みを感じられる、ミーツアンドミングル活動をする計画とします。

⑨スケジュール 4ヶ年計画

